

一人も一人にしない ～巻西中学校の取組～

「一人も一人にしない」。巻西中学校は、平成25年度からこの言葉を大切に教育活動に取り組んでいます。「一人も一人にしない」ためのキーワード「傾聴」「自分の言葉で繰り返す」「姿勢」は、学校のあらゆる場所に掲示されています。巻西中学校が大切にしているのは、型ではありません。心構えです。

心構えを醸成するために、“価値付ける”ことを大切にしています。そのためにまず、子どもたちがもっている宝物（生徒のよい姿）を見付け出します。そして、そのよい姿がなぜ現われ出てきたのかを丁寧に分析します。生徒へは、あらゆる場面で、あらゆる機会に、そのよい姿に対する価値付けを行います。日常的にフィードバックすることで、生徒は耳と目と心で聴くことのよさや反応しながら聴き合うことの価値などを実感し、理解していきます。こうした積み重ねの中で、心構えは醸成されていきます。巻西中学校の取組のほんの一例を紹介します↓



生徒の姿を基軸にした巻西中学校の取組

生徒のよい姿を写真に撮りためる

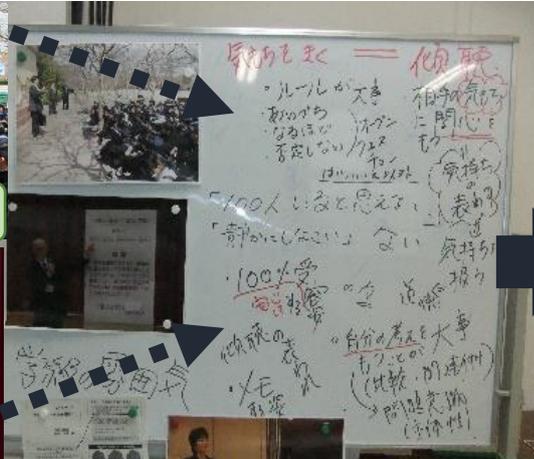


修学旅行「傾聴」の姿



全校朝会「傾聴」についての話

なぜこのようなよい姿が現れたのかを分析する



生徒の姿を基に分析（研究推進委員会）

生徒にフィードバックする

よい姿とその**価値**や**意味**を

あらゆる場面で、あらゆる機会に、
全校朝会、行事の後の諸連絡、学年朝会、朝学活、終学活、昼食後等で
すばやく、

生徒にフィードバックする

具体的な生徒の姿



いつでも、どんなところで、誰に対しても「傾聴」することを大切にしている姿が多く見られます



生徒は「一人も一人にしない」ことの重みや意義を頭ではなく、実感をもって理解しています。

（前略）また、今年度は全校合唱が復活し、tomorrow を歌いました。あの4分の中に、巻西中学校の強い、強い団結力が、はっきりと見えたような気がしました。私はおそらく、あの合唱を一生忘れることはないでしょう。一人も一人にしない。一人にならない安心感を、そこにいた全員がしっかりと人生の土台に刻み込むことができましたと思います。（後略）

【平成29年度卒業式「別れの言葉」より】

よい、価値があると思ったことは生徒自身の言葉で、姿で現しています。

